

2004年9月中間期 決算説明会

新日鉄ソリューションズ株式会社 2004年10月28日



.概 況

代表取締役社長 鈴木 繁

. 中間期決算の概要 及び 年度見通しについて

常務取締役 柳原武美

・参考データ



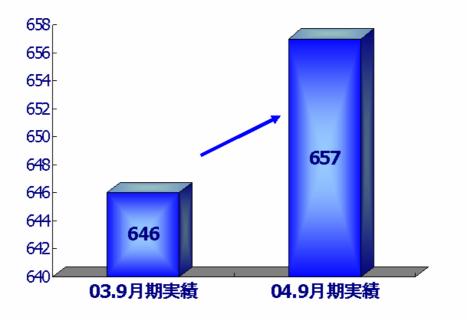
. 概 況

代表取締役社長 鈴木 繁

2004年9月中間期 連結決算



	実績	実績	(億円)
	03/9期	04/9期	差異
売上高	646	657	+11
経常利益	37	43	+6
当期純利益	19	23	+4



2005年3月期 市場環境認識



<全体観>

マーケットは回復トレンド 製造流通を中心に引き合いは活発 SLCトータルソリューションやレガシーリエンシ'ニアリンケ'へのニーズ高い 顧客はTCO削減・ROI向上を強く意識

<主要業種別動向>

・<u>製造流通</u>:顧客の業績改善を背景に引き合いは活発。顧客はTCO削減・ ROI向上を強く意識し、特に大型案件はクロージング長期化。

・金融:業績回復・規制対応等で一定の需要規模。

金融業界全体のシステム投資規模減少トレンドのなか、

ベンダー間競争は激化。

・社会公共:中央省庁の電子政府案件は一巡。ベンダー間競争は激化。

2005年3月期 当社の事業推進方針



・業務ソリューション:

製造業・流通業を中心に、システムの全体最適設計・TCO削減などの顧客ニーズを捉え、差別化ツューション及びSLCトータルソリューションを武器に事業拡大。

・<u>基盤ソリューション</u>:

市場は停滞から反発へ。プロダクトの低いマージンを 設計・構築・保守で補完。24時間365日体制整備に より保守の積極的拡大。

・<u>ビジネスサービス</u>:

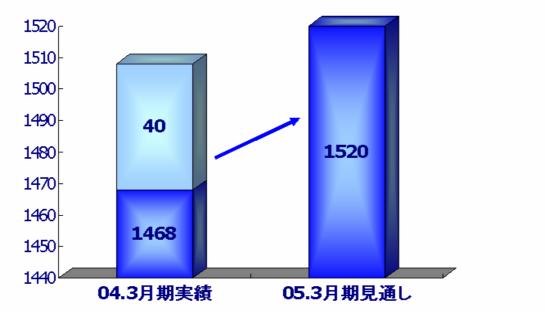
基幹システム再構築に伴う運用改善のニーズ強い。アウトソーシング市場は順調に拡大。SLCトータルソリューションにより事業を拡大。

2005年3月期 業績見通し



(億円)

	実績	見通し	** ==
	04/3期	05/3期	差異
売上高	1,508	1,520	+12
経常利益	98	120	+22
当期純利益	53	67	+14



主要施策の実施状況(サマリー)



SLC (System Life Cycle)トータルソリューションの展開

・サービス範囲拡大による差別化、鉄事業のノウハウの活用

開発技術力の強化

- ・プロジェクトポータル/フレームワーク
- ·PMO活動の定着化

受注力強化

- ・コンサルティング力の強化
- · A R M(Account Relationship Management)

:アカウントチーム体制強化、アカウントプラン策定

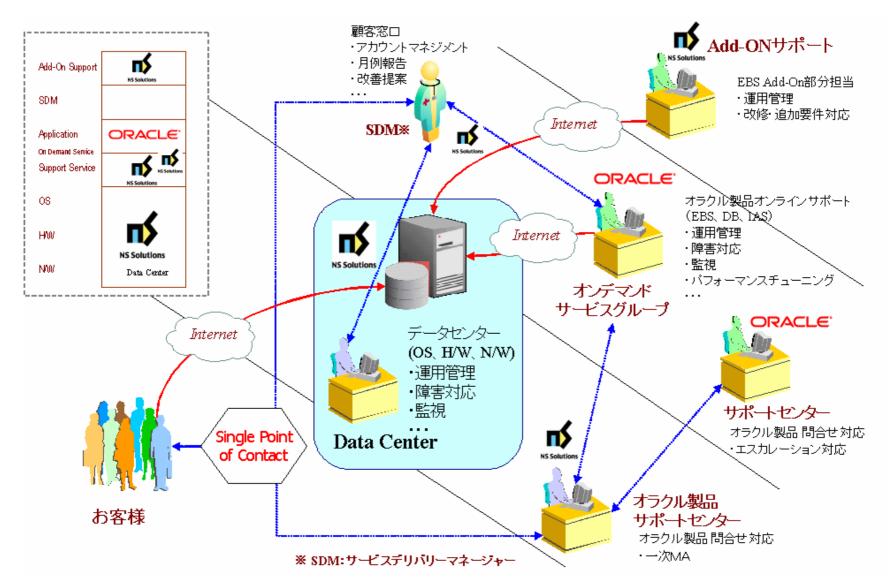
- ・新規ソリューション
 - *レガシーリエンジニアリング(LR)*:産業部門を中心に強い引合い
- Oracle On Demand: 日本オラクルと協同で10月1日サービスイン
- ASP/BPO



Oracle On Demand@NSSOLのご紹介

サービス体制





お客様のメリット



お客様の課題

- 1. ミッションクリティカル・システム
 - ・止められない基幹系システム

- 2. 要員・スキルの不足
- ・継続・緻密なメンテナンス、 常時の稼動監視が未徹底

3.新規投資・運用コストの削減



運用管理レベルの向上

- ・障害の未然防止
- ・障害時の迅速な復旧



人材の有効活用

- ・運用管理業務からの解放
- 技術者の戦略的配置



・24時間、200項目に及ぶ稼動監視 検知分析・判断改善・復日 (プロアクティブ対応)

- ・オラクル専門技術者による代行
- ・高度な運用管理サービスの提供

- 投資リスクの軽減 (オンデマントにより費用化)
- ・規模のメリットによるコスト大幅削減
- ・システムコストの可視化

NSSOL & Oracle

豊富な業務ノウハウと

EBS構築No.1の実績

鉄システムで培った運用サポートノウハウ

サーバ,DB,NW等 No.1基盤技術力

Oracle社との強力なアライアンス



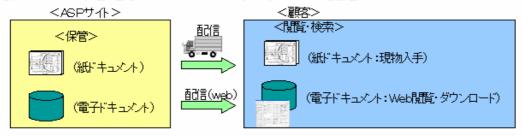
ASPを活用したBPOのご紹介

ASPを活用したBPOサービス事例

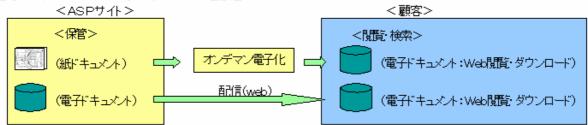


1. オンデマンド・ドキュメント配信

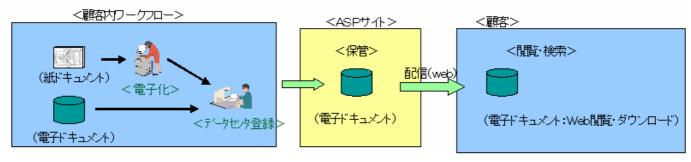
(1)紙ドキュメントと電子ドキュメントのオンデマンド配信



(2) 電子ドキュメントのオンデマンド配信



(3) 電子ドキュメントのオンデマンド配信(ワークフロー業務含む)

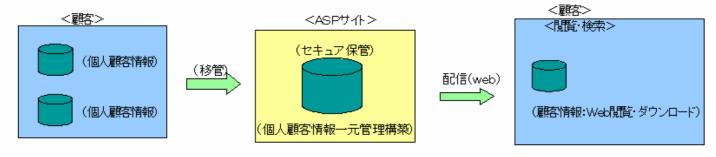


ASPを活用したBPOサービス事例

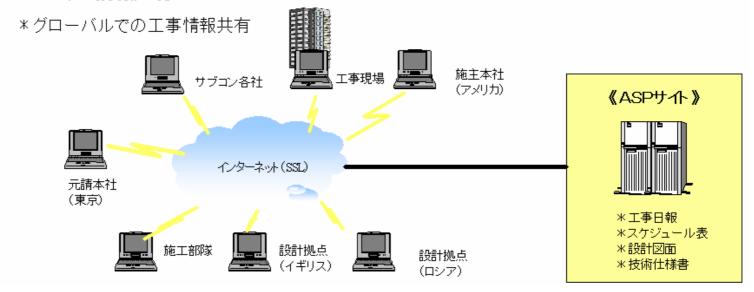


2. 顧客データベース構築/配信

* 個人情報保護法対応

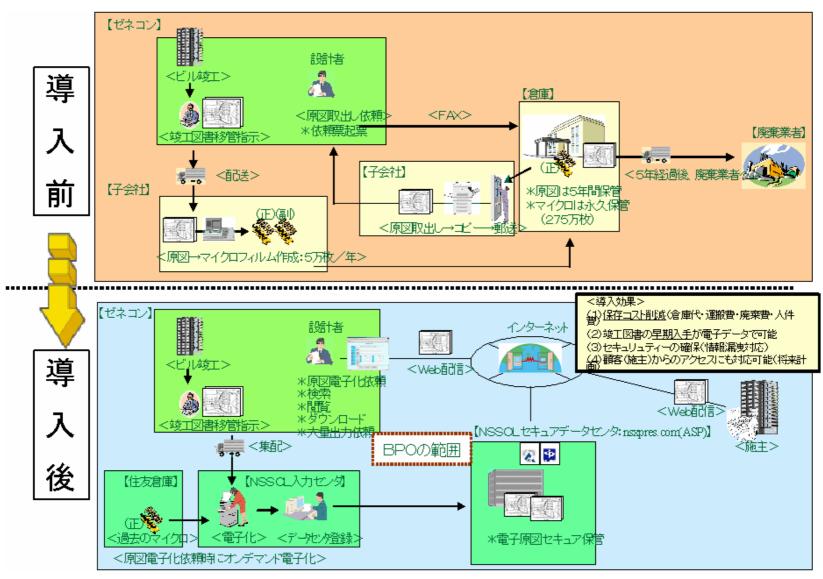


3. プロジェクト情報共有



ASP / BPO導入事例 (ゼネコンの竣工図書オンデマンドアーカイブ)







. 中間期決算の概要 及び 年度見通しについて

常務取締役

柳原武美



1.2004年9月中間期決算の概要

中間期決算概要(連結)

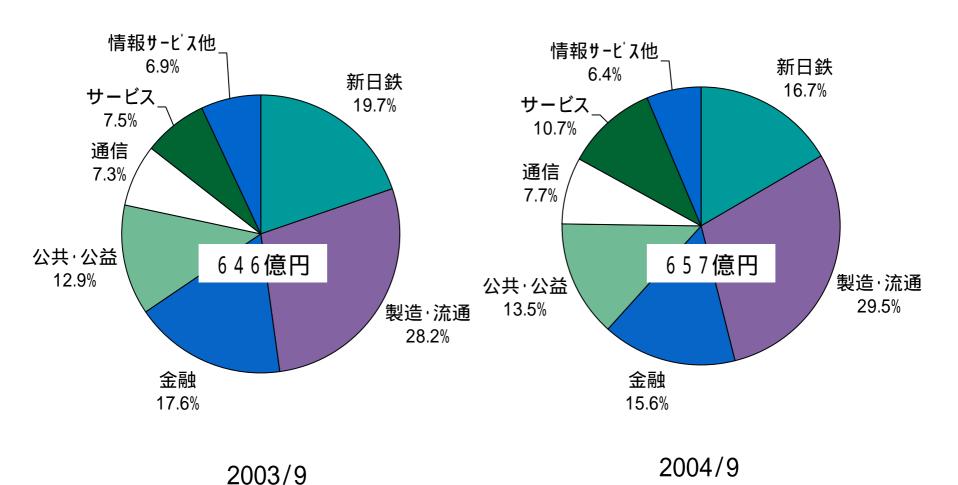


(億円)

	2003/9期 (実績) A	2004/9期 (実績) B	対前年同期 差異 B-A	2004/9期 (公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高 業務ソリューション 基盤ソリューション ピジネスサーピス	646 343 118 185		+ 11 - 9 + 20 + 1	630 310 120 200	+ 27 + 24 + 18 - 14
売上総利益 <売上総利益率>	126 <19.6%>	129 <19.6%>	+ 3 < ± 0%>	127 <20.2%>	+ 2 <-0.6%>
販管費	90	87	- 3	92	- 5
営業利益	37	42	+ 5	35	+ 7
経常利益	37	43	+ 6	35	+ 8
当期純利益	19	23	+ 4	18	+ 5

連結売上高の顧客業種構成







2. 2005年3月期の見通し

決算見通し概要(連結)



(億円)

					(C 1 (Q)(1)
	2004/3期 (実績)	2005/3期 (見通し)	対前年同期 差異	2005/3期 (公表値)	対公表値 差異
	Α	В	B-A	С	B-C
売上高	1,508	1,520	+ 12	1,520	± 0
業務ソリューション 基盤ソリューション ピジネスサーピス	835 299 374		± 0 - 14 + 26	850 270 400	- 15 + 15 ±0
売上総利益 <売上総利益率>	275 <18.2%>	301 <19.8>	+ 26 <+1.6%>	303 <19.9>	- 2 <-0.1%>
販管費	178	182	+ 4	184	- 2
営業利益	97	119	+ 22	119	± 0
営業外損益	1	1	± 0	1	± 0
経常利益	98	120	+ 22	120	± 0
当期純利益	53	67	+ 14	67	± 0

業績見通しの特徴



(億円)

						(L L MON)
	2004/3期(実績)		2005/3期(見通し)		差異	
	上期	下期	上期	下期	上期	下期
売上高	646	862	657	863	+ 11	+ 1
業務ソリューション	343	492	334	501	- 9	+ 9
基盤ソリューション	118	181	138	147	+ 20	- 34
<u>ピシ゚ネスサーピス</u>	185	189	186	214	+ 1	+ 25
売上総利益	126	149	129	172	+ 3	+ 23
<売上総利益率>	<19.6%>	<17.3%>	<19.6%>	<19.9%>	< ± 0%>	<+2.6%>
販管費	90	88	87	95	- 3	+ 7
営業利益	37	60	42	77	+ 5	+ 17
経常利益	37	61	43	77	+ 6	+ 17
期首受注残高	245	316	212	317	-33	1



. 参考データ



1. 2004年9月中間期決算参考データ

中間期決算概要(単独)



(億円)

	2003/9期 (実績) A	2004/9期 (実績) B	対前年同期 差異 B-A	2004/9期 (公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	577	586	+ 9	560	+ 26
業務ソリューション 基盤ソリューション ピジネスサービス	291 105 181	280 125 181	- 11 + 20 + 0	260 110 190	+ 20 + 15 - 9
営業利益	28	35	+ 7	28	+ 7
経常利益	30	37	+ 7	30	+ 7
当期純利益	17	21	+ 4	17	+ 4

貸借対照表(連結)



(単位:億円)

	<u>(半世 思门)</u>		
	2004/3 (実績)	2004/9 (実績)	差異
現金·預金等	275	184	- 91
流動資産	755	555	- 200
固定資産	151	271	+ 120
資産合計	906	826	- 80
借入金	0	0	_
流動負債	349	244	- 105
固定負債	63	66	+ 3
負債合計	412	310	- 102
少数株主持分	12	13	+ 1
資本金·資本剰余金	229	229	-
利益剰余金 他	252	274	+ 22
資本合計	481	503	+ 22
負債·資本 合計	906	826	- 80

キャッシュフロー計算書(連結)



(単位:億円)

		(十四,121)	
	2003/9 (実績)	2004/9 (実績)	差異
	Α	В	B-A
期首現金及び現金同等物(連結除 外会社の期首残高を除く)	257	275	+ 18
営業活動によるキャッシュ・フロー	17	37	+ 54
投資活動によるキャッシュ・フロー	11	124	- 113
財務活動によるキャッシュ・フロー	6	5	+ 1
当期増減額	34	92	- 58
期末現金及び現金同等物残高	223	183	- 40



2. 2005年3月期見通し参考データ

2005年3月期の業績見通し(単独)



(億円)

	2004/3期 (実績) A	2005/3期 (見通し) B	対前年同期 差異 B-A	2005/3期 (公表値) C	対公表値 差異 B-C
売上高	1,361	1,370	+ 9	1,370	1
業務ソリューション 基盤ソリューション ピジネスサーピス	727 270 364	715 265 390	- 12 - 5 + 26	730 250 390	- 15 + 15 -
営業利益	77	98	+ 21	98	1
経常利益	78	100	+ 22	100	-
当期純利益	45	58	+ 13	58	-

貸借対照表(連結)



	2004/3 (実績)	2005/3 (見通し)	差異
現金·預金等	275	213	- 62
流動資産	755	697	- 58
固定資産	151	275	+ 124
資産合計	906	972	+ 66
借入金	0	0	-
流動負債	349	342	- 7
固定負債	63	73	+ 10
負債合計	412	415	+ 3
少数株主持分	12	14	+ 2
資本金·資本剰余金	229	229	-
利益剰余金 他	252	314	+ 62
資本合計	481	543	+ 62
負債・資本 合計	906	972	+ 66

キャッシュフロー計算書(連結)



(単位:億円)

	2004/3 (実績) A	2005/3 (見通L) B	差異 B-A
期首現金及び現金同等物(連結除 外会社の期首残高を除く)	257	275	+ 18
営業活動によるキャッシュ・フロー	40	75	+ 35
投資活動こよるキャッシュ・フロー	▲ 11	▲ 128	- 117
財務活動によるキャッシュ・フロー	1 0	4 9	+1
当期曾藏	19	4 62	- 81
期末現金及び現金同等物残高	275	213	- 62



本資料には当社又は当社役員の当社の営業成績及び財政状態に関する意図、意見又は現時点の予想と関連する将来予想が記載されております。従って、この将来予想は、歴史的事実でも将来の業績を保証するものでもないため、リスクと不確定な要素を含んでおります。実際の業績は様々な要因により異なる可能性があります。当社は、この将来予想を、これらの変化要因を反映するために修正することを保証するものではありません。